



盲導犬は使用者の目の代わりとなるものです
『盲導犬には触らないでね！ 盲導犬に話しかけないでね！』

問い：盲導犬は、傷つけられたりしても吠えないように訓練されているの？

答え：いいえ、そうした訓練は受けていません。人を信用しきっていて、多くは何があっても受け止めているのだと思います。そんな従順な犬をいじめるなんて許せません

問い：盲導犬には、どうして洋服を着せているの？

答え：盲導犬は、バスや電車に乗ることもあります。また、喫茶店やレストランに入ることもあります。そうしたとき、犬の毛が飛んだり、近くにおられる人の洋服に毛が付いてしまうことがあるので、少しでもそうしたことが防げるようにマナーコートとして着せています。

問い：盲導犬にあつたら、犬の名前が知りたくて使用者の人に聞いたら、教えてくれないことがあります。

答え：犬は自分の名前を呼ばれるとついついそちらの方へ気がいってしまつて、盲導犬としてのお仕事を忘れてしまうことがあるからです。

問い：盲導犬ってどんなお仕事をするの？

答え：歩いていて目の前に障害物があつたら、その障害物をさけたり、階段があつたら、その前で立ち止まつて「ここから階段だよ」と伝えます。

問い：信号は分からないの？

答え：残念ながら分かりません。目の見えない使用者が車の音や音響信号機の「ピヨピヨ・カッコーカッコー」などの音を頼りに、「ゴー！」と指示を出します。

問い：どうして指示は英語を使うの？

答え：男の人でも女の人でも英語だったら、同じ言葉づかいで指示がだせるからです。

問い：おしっこやウンチはどうしているの？

答え：胴体にまき付けたベルトに袋を付けて、その中に排泄させるようにしています。

※ 盲導犬のことについて知りたいことがあつたら、使用者である視覚障がい者に直接遠慮なく聞いてくださいね。

お願いします！

☆盲導犬は、数字は読めないなので、バス停に視覚障がい者がおられたら「何号系統が来ましたよ」とさりげなく伝えてください。

☆視覚障がい者が横段歩道に立っておられたら「青に変わりましたよ」と、はっきり分かるように声をかけてください。

☆皆さんの「何かお手伝いしましょうか？」の声掛けで視覚障がい者も盲導犬も随分助かります。